

PROPEL

もっとボートレースを

BOAT RACE 振興会
Boat Race Promotion Association

2012.9 SEPTEMBER

ボートレース広報誌【プロペル】

特集 次代を担う、イケメン若手レーサー3人衆



プロスポーツ選手は実力がすべて。しかしルックスの良い選手に注目が集まるのも事実です。ロンドン五輪ではテレビや雑誌でイケメン選手ランキングが発表されていました。最近ではボートレース界にも女性ファンの注目を集めるアイドル選手が続々と登場。今号はそんなイケメン若手レーサーにスポットを当てました。

TOPICS **ボクシング**の元チャンピオンがボートレーサーとしてデビュー

元日本ミニマム級王者の金光佑治選手がいよいよプロのボートレーサーに。2つ目のチャンピオンを目指すチャレンジが始まります。

開催迫る、第27回 **新鋭王座決定戦**

ボートレース界の若手No.1を決める「新鋭王座決定戦」が9月25日(火)から山口県のボートレース徳山でスタートします。



連載マンガ 「西原理恵子のボートレースできるかな」

情報満載 「数字が語るボートレーサーの仕事」

全国のボートレース場紹介 **ボートレース徳山** (山口県周南市)

人気と実力を兼ね備えた
未来のスター候補

GOTO SHOSHI

後藤 翔之

PROFILE

生年月日 1986年3月9日

年齢 26歳

身長 170cm

体重 55kg

血液型 O型

現住所 東京都

登録番号 4460

級別 A1

初出走日 2007年11月22日

生涯獲得賞金 8,428万円

(9月18日現在)

フェンシング銀メダリストの
太田雄貴選手と対戦しました。



●センターからの威力十分なまくりなど、端正なルックスからは想像できない豪快なレースを展開。いま最も注目を集めるイケメンレーサー。

フェンシングで全国3位に。

スポーツが好きでフェンシングとサッカーを小学校1年から始めました。4年と6年の時にフェンシングでオリンピック銀メダリストの太田雄貴選手と対戦しましたが、どちらも完敗でしたが、6年の時には全国3位になりました。サッカーは高校まで続けて大分県大会で優勝、全国大会にも出場しました。

サラリーマンになりたくなかった。

小学校の頃から「ボートレーサーになれ」と祖父や父親に言われていたんです。中学3年で進路を決める時、自分はサラリーマンになりたくないと思い、真剣にボートレーサーを目指すようになりました。

弟と妹、いともボートレーサー。

2つ下の弟である隼之、4つ下の美翼、いところで6つ下の永井彪也もボートレーサーです。正月などは4人のレーサーが集まり、「ボート一家」なんて言われています。

目標はボートレーサーの頂点。

最高グレードのレースであるSGIにはまだ出ていません。フェンシングで養われた一瞬の判断力や反射神経を活かして、SGIレースに出場するのが当面の目標。プロになった以上は絶対にトップを目指します。



このレース場にあります▶ 9月27日～9月30日 平和島(東京都)、10月6日～10月11日 鳴門(徳島県)、10月16日～10月21日 びわこ(滋賀県)

若手屈指の技巧派レーサー

KIRYU JUNPEI

桐生 順平

競輪選手の兄のすすめで
ボートレーサーになりました。

PROFILE

生年月日 1986年10月7日

年齢 25歳

身長 161cm

体重 50kg

血液型 AB型

現住所 埼玉県

登録番号 4444

級別 A1

初出走日 2007年5月17日

生涯獲得賞金 1億874万円
(9月18日現在)



△競輪選手になるつもりでした。

高校時代は自転車部で全国3位に。兄の卓也が競輪選手で自分も後に続くつもりでした。しかしその兄から「おまえの体格はボートレーサー向きだ」と言われて進路を変更。最初は反発しましたが今は本当に感謝しています。

△イチロー選手から学んだこと。

有言実行でファンの期待に答えなければプロではない。それをイチロー選手の本を読んで痛感しました。自分はまだまだ及びませんが、気持ちでは絶対に負けません。



- 2011年8月に自慢のテクニックを駆使して念願の初優勝を達成。昨年5月、初出場したSGレースでいきなり準優勝戦に進出して注目を集める。

このレース場にあります▶

9月25日～9月30日 蒲郡(愛知県)、10月4日～10月8日 桐生(群馬県)、10月14日～10月19日 住之江(大阪府)

福岡若鷹軍団のリーダー的存在

MAEDA SHOTA

前田 将太

高校を卒業して1年間、
受験準備に集中しました。

PROFILE

生年月日 1988年3月23日

年齢 24歳

身長 168cm

体重 56kg

血液型 A型

現住所 福岡県

登録番号 4504

級別 A1

初出走日 2008年5月14日

生涯獲得賞金 8,097万円
(9月18日現在)



△兄の姿を見てレーサーに。

3つ上の兄・健太郎も選手で、プロフェッショナルな姿勢や生活振りを見て自分もボートレーサーになりたいと思っていました。高校卒業後は1年間フリーターをしながら、やまと学校の受験準備に集中。翌年、無事入学できました。

△60歳になっても現役でいたい。

ボートレースが大好きなので、いつまでも現役を続けたい。何十年もプロのレーサーでいるのは容易ではないですが60歳を過ぎてもレースができれば最高ですね。



- 迫力満点のターンで見物者をうならせる福岡のヤングスター。デビュー4年目にして既に優勝6回を数える実力派。

このレース場にあります▶

9月25日～9月30日 徳山(山口県)、10月12日～10月17日 芦屋(福岡県)

TOPICS

ボクシングの元日本チャンピオンが ボートレーサーとして11月にデビュー。

金光佑治選手は1984年生まれで現在28歳。元プロボクシング日本ミニマム級チャンピオンという異色のボートレーサーです。

16歳でボクシングジムに入門。2003年にプロデビューして2009年3月、日本ミニマム級王座のタイトルを獲得しました。

ところがチャンピオンになった試合で硬膜下血腫となり、引退を余儀なくされます。一時は失意の底に陥りながらもジムのトレーナーにボートレーサーの道をすすめられ、「第2の人生で再びチャンピオンを目指そう」と、やまと学校入学を目指したのです。2010年春に一度合格したものの健康診断で両眼網膜剥離と診断され、入学を断念。しかしボクシングで培った不屈の闘志で再受験にチャレンジ、2011年の特別枠試験に合格して111期の入学を果たしました。

そして2012年9月にやまと学校を無事卒業。11月19日にボートレース住之江で人生2度目のプロデビューを飾る予定です。

「ボクシングの試合ではいつもピンチの連続でしたが、絶対に勝負を諦めないという気持ちで闘ってきました。ボートレースにも強い気持ちで挑み、勝てるレーサーになっていきたいです」。



日本ミニマム級王座決定戦の金光選手



やまと学校111期卒業式より(中央)



卒業記念レース

「第111期選手養成訓練生」総勢26名が卒業 福岡県出身者が7名、福島県や京都府出身者も

日本モーターボート競走会は、9月13日(木)、ボートレーサー養成訓練機関「やまと学校」(福岡県柳川市)において、第111期選手養成訓練生の卒業式を行いました。

2011年10月に入学し、約1年間にわたり全寮制の厳しい訓練生活を過ごした卒業生は女子8名を含む全26名で、出身地別では福岡県の7名をはじめ、埼玉県が3名、静岡、愛知、兵庫、佐賀が各2名。このほか福島、神奈川、大阪、京都、徳島、香川、岡山、大分が各1名となっています。

また、最年少は16歳、最年長は27歳で、11月から順次プロのボートレーサーとしてデビューしていきます。訓練生の中には、スポーツ推薦枠で入学した他競技のスポーツ経験者や職歴のある選手も多く含まれています。



卒業記念優勝戦

TOPICS

未来のスターを目指す2012年スター候補が 新鋭リーグ戦で大活躍

デビュー6年未満の若手レーサーが出場する新鋭リーグ戦。2012年スター候補選手が期待に応え大活躍しています。

2月上旬にボートレース徳山で開催された第1戦を皮切りに、6月末にボートレース桐生で行われた第13戦までの優勝者(延11人)のうち、2012年スター候補選手は9人に上ります。

中でも西村拓也選手(大阪府)と山田康二選手(佐賀県)は、それぞれ第1戦(ボートレース徳山)と第7戦(ボートレース芦屋)、第2戦(ボートレース下関)と第9戦(ボートレース常滑)の2度を制しました。

なお、この新鋭リーグ戦の優勝者は、スターレーサーへの登竜門「第27回新鋭王座決定戦」(ボートレース徳山、9月25日～9月30日)に出場することができ、西村、山田の両選手は新鋭王座決定戦の有力な優勝候補に挙げられています。



西村拓也選手



山田康二選手

スターレーサーへの登竜門「第27回新鋭王座決定戦」

日程:2012年9月25日(火)～9月30日(日)/会場:ボートレース徳山(山口県周南市)

出場資格があるのはデビュー6年未満で、新鋭リーグ戦優勝・SG競走出場・勝率上位などの優秀な選手のみ。言わばボートレース界の若手No.1を決定するビッグレースです。この大会で優勝や上位入賞した選手の大半がその後SGのビッグレースで活躍することから、トップレーサーへの登竜門とも言われます。優勝賞金は1,000万円。今年は全国から52選手が出場予定です。



第27回新鋭王座決定戦のビジュアル

今回はタレントの大島麻衣さんが応援サポーターに就任。選手へのインタビューや表彰式のプレゼンターを務めるほか、トークショーなどのイベントに出演します。トークショーには若手女子レーサーの平山智加選手ら人気レーサーも多数登場。そのほかコンサートや抽選会など様々なファンサービスが予定されています。



応援サポーター 大島麻衣さん

TOPICS

強く、美しい“なでしこ”ボートレーサー 174名の女子レーサーが活躍中

2012年夏はロンドンオリンピックが開催され、サッカーの“なでしこジャパン”をはじめ、水泳やレスリングなど多くの競技で女子選手が大活躍しました。

こうした中、ボートレースの世界でも、女子選手に熱い視線が注がれています。現在、在籍する全レーサー約1,500名の1割以上、174名の“なでしこボートレーサー”が活躍中です。

普段は男女混合レースが中心のボートレースですが、女子レーサーだけの「女子リーグ戦」も行われています。

また、現役トップの女子レーサーとして活躍中の山川美由紀選手(香川県)の生涯獲得賞金は、2012年9月18日現在で約8億円。現在も記録を更新中です。

今年末には年間獲得賞金上位12名の女子レーサーによる「GI第1回賞金女王決定戦」(優勝賞金1,000万円)がボートレース大村(長崎県)で行われます。

9月11日現在の2012年年間獲得賞金トップは、3,175万円を獲得している田口節子選(岡山県)手です。



第26回女子王座優勝の山川美由紀選手



現在獲得賞金トップの田口節子選手

70歳で現役、業界最高齢勝利記録を更新中

現在70歳で現役最年長の加藤峻二選手(埼玉県)がボートレース業界最年長勝利(1着)記録を更新中です。

加藤選手は、1959年のデビュー以来、53年間にわたって常に第一線で活躍しており、ボートレース界最高グレードのスペシャルグレード(SG)レースを4回制覇。2003年には61歳4カ月で「SG笹川賞」に出場して(当時の出場最年長記録)、このレースで優勝戦進出を果たす快挙を成し遂げました。翌2004年には史上4人目となる3,000勝を達成。今なお、現役最多・通算歴代2位の勝利数(1着回数)も更新し続けています。

■加藤峻二選手プロフィール

【生年月日】	1942年01月12日生(70歳)
【選手登録】	1959年06月16日(第5期生)
【出身】	埼玉県
【通算成績】	出走14,104回、1着3,262回、優勝119回(SG:4回、GI:21回)
【獲得賞金】	生涯:約16億400万円
	※データは2012年9月18日現在

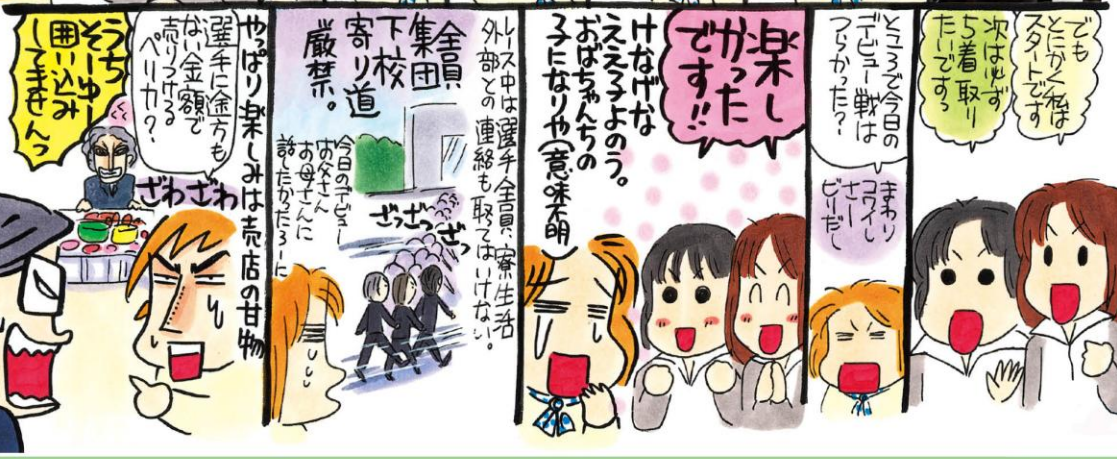
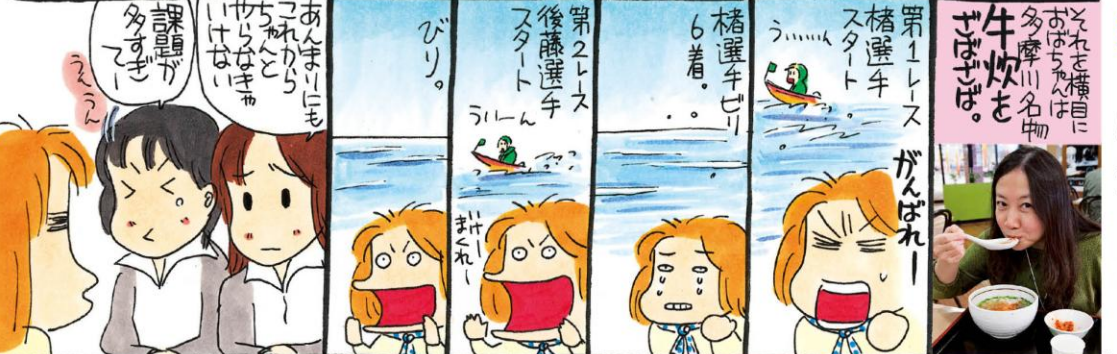


加藤峻二選手

西原 理恵子の **ボートレース** [いよいよデビュー] 編

できる
かな

サイバラが女子レーサーのデビュー戦を密着リポート!



数字が語る ボートレーサーの仕事

ボートレーサーにまつわる数字からも
その仕事が見えてきます。

級別

全国で約1,500人のボートレーサーが
しのぎを削る

ボートレーサーは全国で約1,500人。成績によって上から順にA1級、A2級、B1級、B2級の4つのクラスに分けられています。クラス分けは半年ごとに行われ、現状の実力が反映されるようになっていきます。SGなど賞金額も権威も高いレースには、原則としてA1級でないと出場できません。ボートレーサーは上位クラスを目指し、日々のしのぎを削っています。

A1級	勝率※上位の20%(約300人)、ボートレース界の最高ランクのレーサーが集う。
A2級	A1級を除く勝率上位20%(約300人)、出場レースも増えて収入も増加。
B1級	A1級、A2級を除く勝率上位50%(約750人)の選手がここに含まれる。
B2級	A1級、A2級、B1級以外のレーサー(約150人)。

※ 勝率：着順点等の合計を出場レース数で割った値



年収

平均年収約1,500万円
2億円を超える選手も

ボートレーサーの収入はレースに出場して獲得する賞金で決まります。平均年収は約1,500万円。最高ランクのA1級では約3,600万円、最低ランクのB2級でも平均年収は約500万円となっています。トップレーサーになると1億円以上を獲得し、中には2億円を超える選手も。過去の年間最高獲得賞金は植木通彦・元選手の2億8,393万円(2002年)です。

■クラス別平均年収		他のプロスポーツでは…	
A1級	約3,600万円	プロ野球	約3,600万円
A2級	約2,000万円	オートレース	約1,400万円
B1級	約1,100万円	競馬	約1,000万円
B2級	約500万円		

一般の会社員(男性)では…		
従業員5,000人以上の企業	平均40.9歳	約668万円

(出典：国税庁「平成21年分 民間給与実態統計調査」)

女子選手の活躍

約1割が女子選手。
女子だけのリーグ戦もある!

全選手のほぼ1割にあたる約170人が女子選手。女子選手だけでリーグ戦ができるなど、公営競技の中でもその数はダントツです。ファンの間で評判の美人レーサーも多く、高校時代に重量挙げで全国優勝した経験を持つ守屋美穂選手は、No.1アイドルとして人気沸騰。実力も急上昇で、女子王座決定戦に2回連続出場しています。



守屋美穂選手

他のプロスポーツでは…	
オートレース	1人(2011年、44年ぶりにデビュー)
競輪	33人(2012年、48年ぶりにデビュー)
プロゴルフ	894人(全選手6,008人のうち、14.9%)

※プロゴルフは2010年3月現在



年齢

10代から60代までの選手が活躍 平均在籍年数 34年

2012年9月現在、最も若い選手は18歳の西澤日花里選手、最高年齢は70歳の加藤峻二選手。ボートレーサーの選手生命は長く、現役選手の平均年齢は35.9歳、平均引退年齢は54.6歳で平均在籍年数は34年、50歳以上の選手が140人以上もいます。また、デビュー後すぐにレースに出場できるので、若くして活躍する選手も数多くいます。

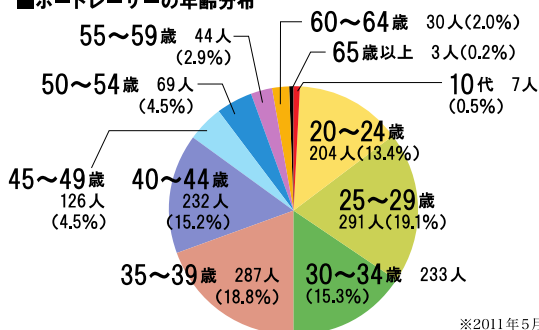
他のプロスポーツでは…

	プロ野球	サッカー (Jリーグ)
最高年齢*	45歳	44歳
平均年齢	27歳	23歳
平均引退年齢	29歳	26歳



※2011年7月現在 加藤峻二選手

■ボートレーサーの年齢分布



生涯獲得賞金

最高額は松井繁選手の30億円! 記録を更新中

松井選手は2010年に約1億円、2011年に約1億2,000万円を獲得。現役選手ですので、さらに記録を伸ばしています。



松井繁選手

■生涯獲得賞金ベスト3 (2012年9月10日現在)

★	松井 繁	30億7,340万円
2	今村 豊	26億2,215万円
3	植木通彦	22億6,186万円 (2007年7月引退)

■高額優勝賞金レース・ベスト3 [SG]

★	賞金王決定戦	1億円
2	総理大臣杯/全日本選手権/笹川賞/モーターボート記念	3,500万円
3	グランドチャンピオン決定戦/オーシャンカップ/チャレンジカップ	2,500万円



昨年12月に行われた「第26回賞金王決定戦競走」で優勝した池田浩二選手(右)とプレゼンターの「アッキーニャ」こと南明奈さん(左)

「第26回賞金王決定戦競走」優勝戦の様子

一般の会社員(大学・大学院卒業/男性)の生涯収入は…

従業員1,000人以上の企業 約3億3,000万円

(出典：独立行政法人 労働政策研究・研修機構「ユースフル労働統計 — 労働統計加工指標集—2011」)

レース数

年間のレース数は約50,000回 365日、毎日どこかで開催されています

全国24カ所のボートレース場で開催されるレースの年間合計回数は約50,000回。毎日、どこかのレース場で開催されています。ボートレーサーたちは全国のボートレース場を飛び回り、迫力あるレースでファンを楽しませています。

他のプロスポーツでは…

	プロ野球	サッカー (J1リーグ戦)
レギュラーシーズン	3月～10月	3月～12月
試合数	各チーム144試合	各チーム34試合



日本財団
The Nippon Foundation

●日本財団に関する情報はこちらから

▶▶▶ <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

●日本財団会長 笹川陽平ブログ

民の立場から公への貢献をモットーに内外の現場で公益活動を実践。年の三分之一を海外活動に充て、海外情勢や時事問題など多角的視点から情報を発信しています。



▶▶▶ <http://blog.canpan.info/sasakawa/>

全国のボートレース場紹介



瀬戸内海国立公園に面したボートレース徳山は、豊かな自然に囲まれ、標高362mの太華山と瀬戸内海の眺望を楽しみながら白熱したレースを観戦できます。中央広場の西側にあるのがボートレース博物館。ボートや有名選手のサイン入りプロペラ、ヘルメット、優勝カップなどを展示しています。レースが開催される日曜日・祝日の午後1時～3時に閉館。入場は無料です。中央入場門前には外向発売所「すなっちゃん徳山」があり、ボートレース徳山の全レースをはじめ、全国で開催されるレースの舟券を年間最大360日、早朝7時から夜9時まで購入できます。

ADDRESS●山口県周南市大字栗屋1033

ACCESS●電車：<往路>JR徳山駅・櫛ヶ浜駅・下松駅より無料タクシー
<復路>JR徳山駅行(櫛ヶ浜駅前経由)・下松駅行無料バス
車：山陽自動車道・徳山東ICより約15分

商店街の小規模場外発売場「オラレ徳山」

「オラレ徳山」はJR徳山駅から徒歩5分、商店街の中にあるボートレースの小規模場外発売場です。年間約360日、午前7時30分から午後7時まで営業。オープンスペースとして気軽に入ることができ、多目的トイレも設置しています。

ボートレースグルメ



お昼時には西スタンド3階のレストランで味わえる、瀬戸内海の新鮮な魚に小鉢がついた刺身定食(950円)がおすすめです。

ボートレース徳山のマスコット「すなっちゃん」



瀬戸内海にも生息するスナメリと呼ばれる小型のイルカをキャラクターにした「すなっちゃん」。スナメリの全身は明るい灰色で体重は50～60kg。レース非開催時の水面に、たまに顔をのぞかせることがあります。



「ISO/IEC27001:2005」を認証取得

BOAT RACE 振興会は、2010年7月25日付で、全部門を対象とした情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の国際認証基準「ISO/IEC27001:2005」を認証取得いたしました。



〒108-0073 東京都港区三田3-12-12 笹川記念会館 TEL.03-5232-2511 FAX.03-5232-2519

||||| BOAT RACE振興会HP ||||||| <http://www.boatrace-pr.jp/>

||||| BOAT RACEオフィシャルweb ||||||| <http://www.boatrace.jp/>